

ヴァイオリン
会田 莉凡
Ribon Aida
客演コンサートマスター

ヴァイオリン
近藤 薫
Kaoru Kondo
東京フィルコンサートマスター



ヴァイオリン
城戸 かれん
Karen Kido
客演フォアシビーラー



コントラバス
黒木 岩寿
Iwahisa Kuroki
東京フィル首席

市民の劇場
～東京フィルトップメンバーによる～
**名曲スペシャル
コンサート**

Program

ロッシーニ：チェロとコントラバスのための二重奏曲 第3楽章
バッハ：G線上のアリア
ヴィヴァルディ：『四季』より抜粋
ドヴォルザーク：弦楽四重奏曲「アメリカ」 第1楽章
サラサーテ：ツイゴイネルワイゼン
ピアソラ：ブエノスアイレスの四季より「冬」 ほか

※予告なくプログラムが変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。



ヴァイオラ
須田 祥子
Sachiko Suda
東京フィル首席



チェロ
金木 博幸
Hiroyuki Kanaki
東京フィル首席

2021
12/18 土 19 日

①上之保生涯学習センター 多目的ホール

12/18(土) ①開場 14:30 開演 15:00

②武芸川生涯学習センター ホール

12/19(日) ②開場 13:00 開演 13:30

③関市文化会館大ホール ホワイエ

12/19(日) ③開場 17:45 開演 18:15

[チケット 全指定席(税込)] ③会場は当日指定席

前売開始日 10月22日(金)

各公演 ■一般／1,500円 ■高校生以下／500円

○お名前・ご連絡先等のご記入をお願いします。
会場で新型コロナウイルス感染者の来場が確認された場合に保健所等の公的機関へ提供することがあります。

※未就学児入場不可

※一般発売当日のチケット販売は、各公演1人2枚まで。

※前売り完売の場合は、当日券の販売はいたしません。

※駐車台数に限りがありますので、乗り合わせて来場してください。

※ご入場時の体温チェックで37.5度以上の方は入場をお断りさせていただきます。

※飛沫感染防止のためマスクの着用をお願いします。ご来場時間、休憩時間等、手洗い・うがい・手指の消毒の徹底にご協力ください。

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況等により、中止・変更となる場合がありますので、予めご了承ください。

入場券	●関市文化会館 0575-24-2525	●西部支所 0575-28-2124	●洞戸事務所 0581-58-2111
前売場所	●板取事務所 0581-57-2111	●武芸川事務所 0575-46-2311	●武儀生涯学習センター 0575-49-3715
●上之保事務所 0575-47-2001			

Profile



近藤 薫 (こんどう かおる) ヴァイオリン

東京藝術大学をアカンサス賞を受賞して卒業後、同大学大学院修士課程修了。在学中、藝大派遣によりウイーン音楽大学の夏期講習会に参加し、アルバン・ベルク、アマデウス、ハーゲン弦楽四重奏団のメンバーに学び、室内楽の分野でも研鑽を積む。キャラバンコンサート2005に参加、ムスティスラフ・ロストロポーヴィチ、小澤征爾両氏より薰陶を受ける。国内のみならず、イタリア、ドイツ、オーストリア、スペイン、カナダ、中国、台湾などの各地に客演、透明感のある美しい音色、また、繊細さと力強さの両極をダイナミックに表現するその演奏は、各地で好評を獲得してきた。これまでに水野佐知香、岡山潔、松原勝也、ウォルフガング・マルシュナー、海野義雄の各氏に師事。大幸財団、松尾財団より奨学金を授与。現在、東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター、フューチャー・オーケストラ・クラシックス コンサートマスター、パンサー・バー・メトロポリタン・オーケストラ首席客演コンサートマスター、長野市芸術館レジデンツカルテット・リヴァラン弦楽四重奏団主宰、全日本学生音楽コンクール、日本香港国際音楽コンクール、刈谷国際音楽コンクール 審査員、東京音楽大学 非常勤講師、東京大学先端研特任教授。東京フィルハーモニー交響楽団創設時のコンサートマスター近藤富雄は祖父で、三世代に渡ってヴァイオリニストという音楽家の家系に育つ。愛知県出身。

Kaoru Kondo

会田 莉凡 (あいだりほん) ヴァイオリン

桐朋女子高等学校音楽科を経て、同大学ソリスト・ディプロマコース修了。第6回ルーマニア国際コンクール弦楽器部門第1位、全部門グランプリ。翌年、ルーマニア国内4都市にてツアーを行う。第81回日本音楽コンクール第1位、併せて増沢賞、レウカディア賞、黒柳賞、鷺見賞を受賞。秋吉台音楽コンクール室内楽部門(2014年)、弦楽器部門(2018年)にてそれぞれ第1位。これまでにソリストとしてルーマニア国立放送管、東響、東京フィル、東京シティフィルをはじめ日本各地のオーケストラと共に演。宮崎国際音楽祭、サイトウキネンオーケストラに毎年参加。トリトン晴れた海のオーケストラメンバー。CHANEL Pygmalion Days2014アーティスト。また2010年より11年にわたって小澤征爾国際室内楽アカデミー奥志賀に参加し、弦楽合奏では小澤征爾氏指揮のもとソリストやコンサートマスターを務める。2014年に「カルテット奥志賀」を結成。2016年に川田知子氏とヴァイオリニ・デュオのCDをリリース。これまでに岩澤麻子、鷺見健鋭、徳永二男の各氏に、室内楽を小澤征爾、原田禎夫、川本嘉子、ジュリアン・ズルマンの各氏に師事。2020年より京都市交響楽団特別客演コンサートマスター。

Ribon Aida



城戸 かれん (きど かれん) ヴァイオリン

1994年、東京生まれ。4歳よりヴァイオリンをはじめ、全日本学生音楽コンクール、ミケランジェロ・アバド国際ヴァイオリンコンクール(ミラノ)第1位、ジョルジュ・エヌスコ国際コンクール(ブカレスト)にて特別賞を受賞。2010年、第14回松方ホール音楽賞、第79回日本音楽コンクール第2位を受賞。2016年、デンマークにて開催されたカール・ニールセン国際ヴァイオリンコンクールにおいて第4位に入賞する。宮崎国際音楽祭、東京・春・音楽祭、Chanel Pygmalion Daysなどに出演するほか、日本フィル、バーデン・フィル、都響、芸大フィル、東京シティ・フィル、宮崎国際音楽祭管弦楽団等と共に演。これまでに三戸泰雄、原田幸一郎、塚原朝子、堀正文、ドンニスク・カンの各氏に師事。徳永二男、川崎雅夫、R.バスギエの各氏の教えを受ける。東京藝術大学を首席で卒業、学内にて福島賞、安宅賞、アカンサス音楽賞、三菱地所賞を受賞。2020年同大学院音楽研究科修士課程を修了。紀尾井ホール室内管弦楽団シーズンメンバーとして研鑽を積むほかソロ、室内楽、オーケストラの幅広い分野で活動している。

Karen Kido

須田 祥子 (すだ さちこ) ヴィオラ

桐朋学園大学を首席で卒業。岡田伸夫に師事。97年、第7回日本室内楽コンクール、99年、第7回多摩フレッシュ音楽コンクール、99年、第23回プレミオ・ヴィットリオ・グイ賞国際コンクール、2000年、第2回淡路島しづかホールヴィオラコンクールの全てのコンクールで第1位優勝。皇居内御前演奏会、日本演奏連盟リサイタルシリーズ、FMリサイタル、B→C、ヴィオラスペース等多くのソロ、室内楽の演奏活動を行なっている。特に、「日本の作曲家2001」及びオーケストラ・アンサンブル金沢との演奏など、NHK-FMでも紹介され高い評価を得た。宮崎音楽祭、サイトウ・キネン・オーケストラ等に度々出演。「題名のない音楽会」及び「らららクラシック」のヴィオラ特集、題名のない音楽会「弦楽四重奏特集」「黒幕樂器の休日」にゲスト出演。2016年には「報道ステーション」で白川氷柱群の前からヴィオラだけのソロ演奏が生中継された。また、2018年にはNHK-FM「きらきら」の水戸での公開収録に、2020年には「今日は一日ピオラ三昧」にゲスト出演。現在、東京フィルハーモニー交響楽団首席奏者、日本センチュリー交響楽団首席客演奏者、アクロス弦楽合奏団、ザ・シンフォニエッタみよしのメンバーを務める他、ヴィオラ演奏集団「SDA48」を主宰。洗足学園大学非常勤講師。ソロアルバム「ピオラは歌う」シリーズ、SDA48「びおらざんまい」をリリース。

Sachiko Suda



金木 博幸 (かなき ひろゆき) チェロ

札幌生まれ。1979年桐朋学園高校音楽科卒業。同年、日本音楽コンクール第2位入賞。翌年、東京国際音楽コンクール第1位入賞。齋藤秀雄賞受賞。上原与四郎氏、青木十良氏に師事。81年に渡独。ティボー・ヴァルガ氏との二重協奏曲共演で好評を博す。84年北西ドイツ音楽大学首席卒業。ウイーン・フィル首席チェリストエマヌエル・ブラベツ教授のもとで3年間研鑽を積む。室内楽をパリ弦楽四重奏団、アマデウス弦楽四重奏団に師事。ダニエル・シャフラン教授、ミラノ・スカラ座首席チェリストアントニオ・ボカーテラ教授にも師事。ショットワットガルト国際チェロコンクール最高位入賞。スイス南部ルガーノ放送響メンバーとして活動。91年東京フィルハーモニー交響楽団首席チェリストに就任。東京フィル、東京シティ・フィル、札幌交響楽団等と協奏曲を共演。オーケストラプレーヤーとしての活動に加え、各地でのリサイタル等、ソリスト、室内楽奏者としても多彩な活動を展開し高い評価を得ている。

Hiroyuki Kanaki

黒木 岩寿 (くろき いわひさ) コントラバス

東京藝術大学卒業、同大学院修士課程修了。1987年安宅賞受賞。1988年福島賞受賞。八ヶ岳高原音楽祭、霧島国際音楽祭、ゆふいん音楽祭に招待される。また、ボーランド・ヴィエニアフスキ音楽祭や、バルセロナのカタロニア音楽祭にも出演する。小林研一郎指揮読売日本交響楽団、ドイツの重鎮ハンス・マルティン・シナイト指揮神奈川フィルハーモニー管弦楽団、沼尻竜典指揮トウキョウ・モーツアルトプレーヤーズと協奏曲で共演。2001年から2008年まで神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席奏者をつとめ、2009年からは東京フィルハーモニー交響楽団に移籍し首席奏者に就任。トウキョウ・モーツアルトプレーヤーズ、パロック・バンドのパヴィメント・ジャパンのメンバーを経て、現在ラ・ストラヴァガニツア東京主宰の他に東京グランド・ソロイズツのメンバー。兵庫県芸術文化センター管弦楽団(PAC)にも出演している。室内楽では、マルタ・アルゲリッチ、ポール・メイエ、モディリアーニ・カルテット、アルデオ・カルテット、ジョセフ・リン等と共演。映画「おくりびと」の音楽にも参加。コマーシャル、ドラマ等、ジャンルを超えたパフォーマンスで活動中。また自らの企画「文化人類学講座」は好評を博している。1990年から2004年まで東京藝術大学管弦楽研究部非常勤講師。現在は、桐朋学園芸術短期大学、洗足学園音楽大学、昭和音楽大学、大分県立芸術文化短期大学講師として後進の指導にもあたる。2016年よりムジカーザのプロデューサー。2019年より長野市芸術館のシーズン・プログラム・プロデューサーに就任。

Iwahisa Kuroki

